

様式第3（第6条関係）

罹災証明申請書

豊橋市長 様

年 月 日

申請者 (世帯主)	住所 豊橋市〇〇町 電話番号 0532-21-●●××
	(現在の連絡先) 被災して別の場所に住んでいる場合の住所 電話番号
	(ふりがな) よしだ たろう 氏名 吉田 太郎

窓口に来られた方 (申請者と同じ場合は記入不要)	住所 電話番号
	(ふりがな) 氏名 申請者との関係

罹災原因	令和 ● 年 ▲ 月 × 日の 台風○号 による
------	--------------------------

被災住家※の所在地 (申請者住所と同じ場合は記入不要)	
--------------------------------	--

※ 住家とは、現実に居住(世帯が生活の本拠として日常的に使用していることをいう。)のために使用している建物のことをいいます(被災者生活再建支援金や災害救助法による住宅の応急修理等の対象となる住家)。

住家の被害	<input checked="" type="checkbox"/> 浸水被害 ( <input type="checkbox"/> 床上 <input checked="" type="checkbox"/> 床下 ) <input type="checkbox"/> その他被害 (以下に記入)
-------	--

罹災証明書の 必要枚数	1 枚
----------------	-----

写真による被害区分の判定 (※)	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する (写真を添付) <input type="checkbox"/> 希望しない
---------------------	--

※ 下記の場合には、現地調査を省略し、写真により被害区分を判定することが可能です。写真による判定を希望する場合は、「希望する」欄にチェックをしてください。

- ・地震による被害を受けた住家の写真から「全壊」と判定できる場合
- ・水害による被害を受けた住家の写真から浸水深が確認できる場合
- ・「準半壊に至らない(一部損壊)」となることが一見して明らかに判定できる場合

※ 添付された写真から被害の程度が判断できない場合には、必要に応じて現地調査を行うことがあります。

写真による被害区分の判定を希望しない場合には、写真の添付は必須ではありません。